

令和7年度 広島大学 2次試験前期日程(数学問題)150分  
理・工・医・歯・薬・教育(自然系・理数系)・  
総合学科(理科系)・生物生産

問題 1 2 3 4 5

1 次の問いに答えよ。ただし、 $\log x$  は自然対数を表す。

(1)  $x > 0$  で定義された次の関数の最大値を求めよ。

$$f(x) = \frac{\log x}{\sqrt{x}}$$

(2) 次の不定積分をそれぞれ求めよ。

$$\int \log x \, dx, \quad \int (\log x)^2 \, dx$$

(3) (1) で求めた最大値を  $a$  として、座標平面上の二つの曲線  $C_1 : y = a\sqrt{x}$ ,  $C_2 : y = \log x$  を考える。  $x$  軸と二つの曲線  $C_1, C_2$  によって囲まれた図形を  $x$  軸のまわりに1回転してできる立体の体積  $V$  を求めよ。

**2**  $a > 0$  とし,  $p$  を実数とする. 座標平面上の 3 点  $A(0, a)$ ,  $B(-1, 0)$ ,  $C(1, 0)$  を考える.  $P_n, Q_n, R_n$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) が以下の二つの条件を満たすとする.

- (i) 点  $P_1$  は直線  $AB$  上にあり,  $x$  座標が  $p$  である.
- (ii) 自然数  $n$  に対し,
  - 点  $P_n$  から  $x$  軸に下ろした垂線と  $x$  軸との交点が  $Q_n$  である. ただし, 点  $P_n$  が  $x$  軸上にあるときは, 点  $Q_n$  は  $P_n$  と同じ点であるとする.
  - 点  $Q_n$  から直線  $AC$  に下ろした垂線と直線  $AC$  との交点が  $R_n$  である. ただし, 点  $Q_n$  が直線  $AC$  上にあるときは, 点  $R_n$  は  $Q_n$  と同じ点であるとする.
  - 点  $R_n$  を通り  $x$  軸と平行な直線と直線  $AB$  との交点が  $P_{n+1}$  である.

点  $P_n$  の  $x$  座標を  $x_n$  とする. 次の問いに答えよ.

(1) 点  $R_1$  の座標を  $a, p$  を用いて表せ.

(2) 命題

「点  $P_1$  が線分  $AB$  上にあるならば, 点  $R_1$  は線分  $AC$  上にある」が真であるような  $a$  の値の範囲を求めよ. ただし, 線分は両端を含むものとする.

(3)  $x_n$  を  $a, n, p$  を用いて表せ.

(4)  $a = 2, p = 0$  であるとき, 不等式

$$|x_{n+1} - x_n| < 10^{-10}$$

を満たす最小の自然数  $n$  を求めよ. ただし,  $\log_{10} 2 = 0.3010$  とする.

- 3**  $0 < \theta < \frac{\pi}{3}$  を満たす  $\theta$  に対し、座標平面上の原点  $O(0, 0)$  を中心とする半径 1 の円上の 4 点

$$A(1, 0), B(\cos \theta, \sin \theta), C(\cos 2\theta, \sin 2\theta), D(\cos 3\theta, \sin 3\theta)$$

を考え、 $\triangle OAD$  の面積を  $S(\theta)$ 、 $\triangle ABC$  の面積を  $T(\theta)$ 、 $\triangle ABD$  の面積を  $U(\theta)$  とする。次の問いに答えよ。

(1)  $\lim_{\theta \rightarrow +0} \frac{S(\theta)}{\theta}$  を求めよ。

(2)  $\lim_{\theta \rightarrow +0} \frac{T(\theta)}{\theta^3}$  を求めよ。

(3)  $t = \cos \theta$  とおく。  $\frac{U(\theta)}{\sin \theta}$  を  $t$  の整式で表せ。

(4) 関数  $f(\theta)$  を

$$f(\theta) = \frac{T(\theta)}{U(\theta)}$$

と定義する。  $\lim_{\theta \rightarrow +0} f(\theta)$  を求めよ。また、 $\theta$  が  $0 < \theta < \frac{\pi}{3}$  の範囲を動くとき、 $f(\theta)$  のとり得る値の範囲を求めよ。

4  $n$  を自然数とする.  $(3n+1)$  個の箱  $A_1, A_2, \dots, A_{3n+1}$  があり, 1 から  $3n+1$  までの各自然数  $k$  に対して,  $k$  番目の箱  $A_k$  には, 1 から  $k$  までの整数が一つずつ書かれた  $k$  枚のカードが入っている. これを初期状態とする. 次の問いに答えよ.

- (1) 箱  $A_{3n+1}$  に入っているすべてのカードに書かれた整数の平均値  $L$  を  $n$  を用いて表せ.
- (2) 箱  $A_1, A_2, \dots, A_{3n+1}$  に入っているすべてのカードに書かれた整数の平均値  $M$  を  $n$  を用いて表せ.
- (3) 初期状態から, 箱  $A_1, A_2, \dots, A_{3n+1}$  に入っているすべてのカードを箱 B に移す. 箱 B から 1 枚のカードを取り出すとき, カードに書かれた整数が (2) で求めた値  $M$  に等しくなる確率を  $P(n)$  とする.  $P(n)$  を  $n$  を用いて表せ.
- (4)  $M$  を (2) で求めた値とする. 初期状態から, 箱  $A_M, A_{M+1}, \dots, A_{3n+1}$  だけ集めて, ケース C に収納する. ケース C から一つの箱を選び, さらにその箱から 1 枚のカードを取り出す. カードに書かれた整数が  $M$  に等しいとき, そのカードが箱  $A_{3n+1}$  から取り出されている条件付き確率を  $Q(n)$  とする.  $\lim_{n \rightarrow \infty} nQ(n)$  を求めよ.

5  $i$  を虚数単位とする. 複素数  $z_n$  ( $n = 1, 2, 3, \dots$ ) を

$$z_1 = \sqrt{3} + 2i, \quad z_{n+1} = 2(z_n - i)^2 + i \quad (n = 1, 2, 3, \dots)$$

により定める. 次の問いに答えよ.

- (1)  $z_2 - i$  と  $z_3 - i$  を極形式で表せ.
- (2)  $z_n - i$  を極形式で

$$z_n - i = r_n(\cos \theta_n + i \sin \theta_n)$$

と表したとき,  $\log_2 r_n$  を  $n$  を用いて表せ.

- (3)  $z_n$  を  $n$  を用いて表せ.
- (4) 複素数  $z_n$  が表す複素数平面上の点を  $P_n$  とする. 3 点  $P_3, P_5, P_{2025}$  が同一直線上にあることを示せ.

解答例

$$\boxed{1} \quad (1) \quad f(x) = \frac{\log x}{\sqrt{x}} \text{ より } f'(x) = \frac{2 - \log x}{2x\sqrt{x}}$$

$x$	$(0)$	$\dots$	$e^2$	$\dots$
$f'(x)$		$+$	$0$	$-$
$f(x)$		$\nearrow$	極大	$\searrow$

$$\text{よって} \quad \text{最大値 } f(e^2) = \frac{2}{e}$$

(2)

$$\begin{aligned} \int \log x \, dx &= \int (x)' \log x \, dx = x \log x - \int x \cdot \frac{1}{x} \, dx \\ &= x(\log x - 1) + C \quad (C \text{ は積分定数}), \\ \int (\log x)^2 \, dx &= \int (x)' (\log x)^2 - \int x \cdot \frac{2 \log x}{x} \, dx \\ &= x(\log x)^2 - 2 \int \log x \, dx \\ &= x(\log x)^2 - 2x(\log x - 1) + C \\ &= x\{(\log x)^2 - 2 \log x + 2\} + C \quad (C \text{ は積分定数}) \end{aligned}$$

$$\text{別解 } t = \log x \text{ とおくと, } x = e^t \text{ より } \frac{dx}{dt} = e^t$$

$$\begin{aligned} \int \log x \, dx &= \int t e^t \, dt = \{t - (t)'\} e^t + C \\ &= (\log x - 1)x + C, \\ \int (\log x)^2 \, dx &= \int t^2 e^t \, dx = \{t^2 - (t^2)' + (t^2)''\} e^t + C \\ &= \{(\log x)^2 - 2 \log x + 2\} x + C \end{aligned}$$

補足 別解は次の積分公式を利用している<sup>1</sup>.

$$\begin{aligned} \int e^{kx} f(x) \, dx &= \frac{e^{kx}}{k} \left\{ f(x) - \frac{f'(x)}{k} + \frac{f''(x)}{k^2} - \frac{f'''(x)}{k^3} + \dots \right\} + C \\ \int e^x f(x) \, dx &= e^x \{ f(x) - f'(x) + f''(x) - f'''(x) + \dots \} + C \\ \int e^{-x} f(x) \, dx &= -e^{-x} \{ f(x) + f'(x) + f''(x) + f'''(x) + \dots \} + C \end{aligned}$$

<sup>1</sup>[http://kumamoto.s12.xrea.com/kyusuu/kagoshima/kagoshima\\_2023.pdf](http://kumamoto.s12.xrea.com/kyusuu/kagoshima/kagoshima_2023.pdf) (p.10 を参照)

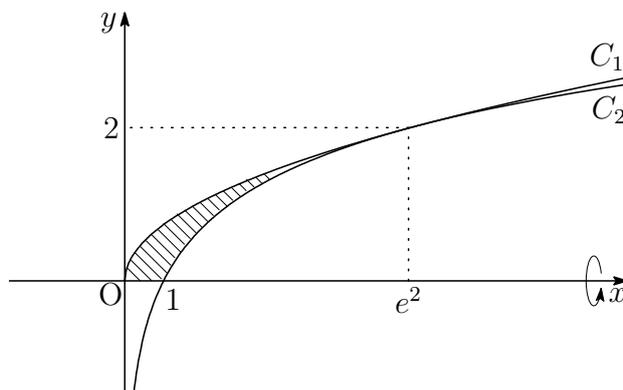
(3) (1) の結果より,  $a = \frac{2}{e} = f(e^2) \geq f(x)$  であるから

$$a\sqrt{x} - \log x = \sqrt{x} \left( a - \frac{\log x}{\sqrt{x}} \right) = \sqrt{x} \{ f(e^2) - f(x) \} \geq 0$$

求める回転体の体積を  $V$  とすると

$$\begin{aligned} \frac{V}{\pi} &= \int_0^{e^2} (a\sqrt{x})^2 dx - \int_1^{e^2} (\log x)^2 dx \\ &= \frac{2}{e^2} \left[ x^2 \right]_0^{e^2} - \left[ x \{ (\log x)^2 - 2 \log x + 2 \} \right]_1^{e^2} \\ &= 2e^2 - (2e^2 - 2) = 2 \end{aligned}$$

よって  $V = 2\pi$



別解  $C_1: x = \frac{e^2 y^2}{4}$  ( $y \geq 0$ ),  $C_2: x = e^y$  であるから<sup>2</sup>

$$V = 2\pi \int_0^2 y \left( e^y - \frac{e^2 y^2}{4} \right) dy = 2\pi \left[ e^y (y - 1) - \frac{e^2 y^4}{16} \right]_0^2 = 2\pi$$

バウムクーヘン型求積法

$a \leq x \leq b$  の範囲で  $f(x) \geq 0$  のとき,  $y = f(x)$  のグラフと  $x$  軸および 2 直線  $x = a$ ,  $x = b$  で囲まれた部分を  $y$  軸のまわりに 1 回転してできる立体の体積  $V$  は

$$V = 2\pi \int_a^b x f(x) dx$$

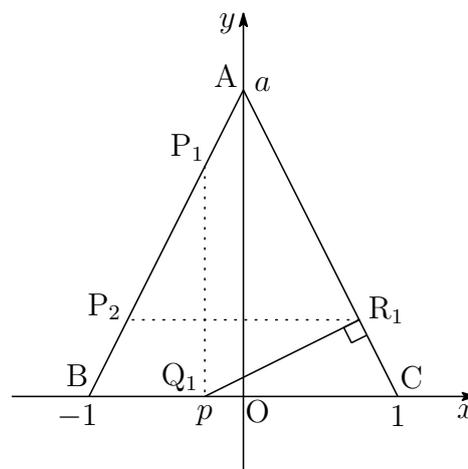
<sup>2</sup>[http://kumamoto.s12.xrea.com/nyusi/kumadai\\_i.2016.pdf](http://kumamoto.s12.xrea.com/nyusi/kumadai_i.2016.pdf) [2]

- 2 (1) 点  $P_1$  の  $x$  座標が  $p$  であるから、  
 点  $Q_1$  の座標は  $(p, 0)$   
 直線  $AC$  の方程式は ( $a > 0$ )

$$y = -ax + a \quad \cdots \textcircled{1}$$

点  $Q_1$  を通り、直線  $AC$  に垂直な直線の  
 方程式は

$$y = \frac{1}{a}(x - p) \quad \cdots \textcircled{2}$$



点  $R_1$  は 2 直線  $\textcircled{1}$ ,  $\textcircled{2}$  の交点であるから、これを解いて

$$\mathbf{R_1} \left( \frac{p + a^2}{1 + a^2}, \frac{a(1 - p)}{1 + a^2} \right)$$

- (2) 「点  $P_1$  が線分  $AB$  上にあるならば、点  $R_1$  は線分  $AC$  上にある」から、  
 2 点  $P_1, R_1$  のそれぞれの  $x$  座標に着目すると

$$-1 \leq p \leq 0 \implies 0 \leq \frac{p + a^2}{1 + a^2} \leq 1 \iff -a^2 \leq p \leq 1$$

この命題が真であるから  $-a^2 \leq -1$

$a > 0$  に注意して解くと  $\mathbf{a \geq 1}$

- (3) 点  $P_2$  は、直線  $AB: y = ax + a$  上の点であり、その  $y$  座標は点  $R_1$  の  $y$  座標と等しい。したがって、 $P_2$  の  $x$  座標  $x_2$  は

$$\frac{a(1 - p)}{1 + a^2} = ax_2 + a \quad \text{ゆえに} \quad x_2 = -\frac{p + a^2}{1 + a^2}$$

よって、次の  $\{x_n\}$  の漸化式を得る。

$$x_1 = p, \quad x_{n+1} = -\frac{x_n + a^2}{1 + a^2}$$

これから 
$$x_{n+1} + \frac{a^2}{2 + a^2} = -\frac{1}{1 + a^2} \left( x_n + \frac{a^2}{2 + a^2} \right)$$

$$x_n + \frac{a^2}{2 + a^2} = \left( p + \frac{a^2}{2 + a^2} \right) \left( -\frac{1}{1 + a^2} \right)^{n-1}$$

$$\mathbf{x_n = \left( p + \frac{a^2}{2 + a^2} \right) \left( -\frac{1}{1 + a^2} \right)^{n-1} - \frac{a^2}{2 + a^2}}$$

(4)  $a = 2$ ,  $p = 0$  を (3) の結果に代入すると

$$x_n = \frac{2}{3} \left\{ \left( -\frac{1}{5} \right)^{n-1} - 1 \right\}$$

したがって

$$\begin{aligned} x_{n+1} - x_n &= \frac{2}{3} \left\{ \left( -\frac{1}{5} \right)^n - 1 \right\} - \frac{2}{3} \left\{ \left( -\frac{1}{5} \right)^{n-1} - 1 \right\} \\ &= -\frac{4}{5} \left( -\frac{1}{5} \right)^{n-1} = 4 \left( -\frac{1}{5} \right)^n \end{aligned}$$

$|x_{n+1} - x_n| = 4 \cdot 5^{-n}$  であるから,  $|x_{n+1} - x_n| < 10^{-10}$  を満たすとき

$$\log_{10}(4 \cdot 5^{-n}) < -10 \quad \text{ゆえに} \quad n > \frac{10 + \log_{10} 4}{\log_{10} 5} \quad (*)$$

$$\frac{10 + \log_{10} 4}{\log_{10} 5} = \frac{10 + 2 \log_{10} 2}{1 - \log_{10} 2} = \frac{10 + 2 \times 0.3010}{1 - 0.3010} = \frac{10.6020}{0.6990} = 15.1 \dots$$

よって, (\*) を満たす最小の自然数  $n$  は  $n = 16$  ■

**3** A(1, 0), B(cos  $\theta$ , sin  $\theta$ ), C(cos 2 $\theta$ , sin 2 $\theta$ ), D(cos 3 $\theta$ , sin 3 $\theta$ ) ( $0 < \theta < \frac{\pi}{3}$ )

(1)  $\overrightarrow{OA} = (1, 0)$ ,  $\overrightarrow{OD} = (\cos 3\theta, \sin 3\theta)$  より ( $0 < 3\theta < \pi$ )

$$S(\theta) = \frac{1}{2} \sin 3\theta \quad \text{よって} \quad \lim_{\theta \rightarrow +0} \frac{S(\theta)}{\theta} = \lim_{\theta \rightarrow +0} \frac{\sin 3\theta}{2\theta} = \frac{3}{2}$$

(2)  $\overrightarrow{AB} = (\cos \theta - 1, \sin \theta)$ ,  $\overrightarrow{AC} = (\cos 2\theta - 1, \sin 2\theta)$  より ( $0 < \theta < \frac{\pi}{3}$ )

$$\begin{aligned} T(\theta) &= \frac{1}{2} |\sin 2\theta(\cos \theta - 1) - \sin \theta(\cos 2\theta - 1)| \\ &= \frac{1}{2} |(\sin 2\theta \cos \theta - \cos 2\theta \sin \theta) - \sin 2\theta + \sin \theta| \\ &= \frac{1}{2} |2 \sin \theta - \sin 2\theta| = \frac{1}{2} |2 \sin \theta - 2 \sin \theta \cos \theta| \\ &= \sin \theta(1 - \cos \theta) \end{aligned} \quad (*)$$

したがって

$$\begin{aligned} \lim_{\theta \rightarrow +0} \frac{T(\theta)}{\theta^3} &= \lim_{\theta \rightarrow +0} \frac{\sin \theta(1 - \cos \theta)}{\theta^3} \\ &= \lim_{\theta \rightarrow +0} \left( \frac{\sin \theta}{\theta} \right)^3 \frac{1}{1 + \cos \theta} = 1^3 \cdot \frac{1}{2} = \frac{1}{2} \end{aligned}$$

(3)  $\overrightarrow{AB} = (\cos \theta - 1, \sin \theta)$ ,  $\overrightarrow{AD} = (\cos 3\theta - 1, \sin 3\theta)$  より ( $0 < \theta < \frac{\pi}{3}$ )

$$\begin{aligned} U(\theta) &= \frac{1}{2} |\sin 3\theta(\cos \theta - 1) - \sin \theta(\cos 3\theta - 1)| \\ &= \frac{1}{2} |(\sin 3\theta \cos \theta - \cos 3\theta \sin \theta) + \sin \theta - \sin 3\theta| \\ &= \frac{1}{2} |\sin 2\theta + (\sin \theta - \sin 3\theta)| \\ &= \frac{1}{2} |2 \sin \theta \cos \theta - 2 \sin \theta \cos 2\theta| \\ &= |\sin \theta(\cos \theta - \cos 2\theta)| = |\sin \theta(\cos \theta - 2 \cos^2 \theta + 1)| \\ &= |\sin \theta(1 - \cos \theta)(1 + 2 \cos \theta)| \\ &= \sin \theta(1 - \cos \theta)(1 + 2 \cos \theta) \end{aligned} \quad (**)$$

$t = \cos \theta$  とおくと

$$\frac{U(\theta)}{\sin \theta} = (1 - \cos \theta)(1 + 2 \cos \theta) = (1 - t)(1 + 2t)$$

(4) (\*), (\*\*) より  $\left(0 < \theta < \frac{\pi}{3}\right)$

$$f(\theta) = \frac{T(\theta)}{U(\theta)} = \frac{\sin \theta(1 - \cos \theta)}{\sin \theta(1 - \cos \theta)(1 + 2 \cos \theta)} = \frac{1}{1 + 2 \cos \theta}$$

したがって  $\lim_{\theta \rightarrow +0} f(\theta) = \frac{1}{3}, \quad \frac{1}{2} < f(\theta) < \frac{1}{3}$  ■

4 (1)

$$\begin{aligned} L &= \frac{1}{3n+1} \{1 + 2 + \cdots + (3n+1)\} \\ &= \frac{1}{3n+1} \cdot \frac{1}{2} (3n+1) \{1 + (3n+1)\} = \frac{3n+2}{2} \end{aligned}$$

(2)

$$\begin{aligned} \sum_{k=1}^{3n+1} k &= \frac{1}{2} (3n+1)(3n+2), \\ \sum_{k=1}^{3n+1} \sum_{j=1}^k j &= \sum_{k=1}^{3n+1} \frac{1}{2} k(k+1) \\ &= \sum_{k=1}^{3n+1} \frac{1}{6} k(k+1) \{(k+2) - (k-1)\} \\ &= \frac{1}{6} \sum_{k=1}^{3n+1} \{k(k+1)(k+2) - (k-1)k(k+1)\} \\ &= \frac{1}{6} (3n+1)(3n+2)(3n+3) \\ &= \frac{1}{2} (n+1)(3n+1)(3n+2) \end{aligned}$$

したがって

$$\begin{aligned} M &= \sum_{k=1}^{3n+1} \sum_{j=1}^k j \bigg/ \sum_{k=1}^{3n+1} k \\ &= \frac{1}{2} (n+1)(3n+1)(3n+2) \bigg/ \frac{1}{2} (3n+1)(3n+2) \\ &= \mathbf{n+1} \end{aligned}$$

- (3)  $n+1$  と書かれたカードの枚数は,  $A_{n+1}, A_{n+2}, \dots, A_{3n+1}$  にあったカードの枚数で,  $(3n+1) - (n+1) + 1 = 2n+1$  (枚).

よって, 求める確率は

$$P(n) = 2n+1 \bigg/ \frac{1}{2}(3n+1)(3n+2) = \frac{2(2n+1)}{(3n+1)(3n+2)}$$

- (4) 取り出されたカードが  $M(=n+1)$  である事象を  $X$ , 取り出されたカードが箱  $A_{3n+1}$  からである事象を  $Y$  とすると

$$P(X) = \frac{1}{2n+1} \sum_{k=1}^{2n+1} \frac{1}{n+k},$$

$$P(X \cap Y) = \frac{1}{2n+1} \times \frac{1}{3n+1} = \frac{1}{(2n+1)(3n+1)}$$

上の2式から

$$Q(n) = \frac{P(X \cap Y)}{P(X)}$$

$$= \frac{1}{(2n+1)(3n+1)} \bigg/ \frac{1}{2n+1} \sum_{k=1}^{2n+1} \frac{1}{n+k}$$

$$= 1 \bigg/ (3n+1) \sum_{k=1}^{2n+1} \frac{1}{n+k}$$

したがって  $\frac{1}{nQ(n)} = \left(3 + \frac{1}{n}\right) \sum_{k=1}^{2n+1} \frac{1}{n+k}$

$$\lim_{n \rightarrow \infty} \frac{1}{nQ(n)} = \lim_{n \rightarrow \infty} \left(3 + \frac{1}{n}\right) \cdot \frac{1}{n} \sum_{k=1}^{2n+1} \frac{1}{1 + \frac{k}{n}}$$

$$= 3 \int_0^2 \frac{1}{1+x} dx = 3 \left[ \log(1+x) \right]_0^2 = 3 \log 3$$

よって  $\lim_{n \rightarrow \infty} nQ(n) = \frac{1}{3 \log 3}$  ■

$$\boxed{5} \quad z_1 = \sqrt{3} + 2i, \quad z_{n+1} = 2(z_n - i)^2 + i \text{ より } 2(z_{n+1} - i) = \{2(z_n - i)\}^2$$

$$\begin{aligned} 2(z_n - i) &= \{2(z_1 - i)\}^{2^{n-1}} = \{2(\sqrt{3} + i)\}^{2^{n-1}} \\ &= \left\{ 4 \left( \cos \frac{\pi}{6} + i \sin \frac{\pi}{6} \right) \right\}^{2^{n-1}} \\ &= 4^{2^{n-1}} \left( \cos \frac{2^{n-1}}{6} \pi + i \sin \frac{2^{n-1}}{6} \pi \right) \\ &= (2^2)^{2^{n-1}} \left( \cos \frac{2^{n-2}}{3} \pi + i \sin \frac{2^{n-2}}{3} \pi \right) \\ &= 2^{2^n} \left( \cos \frac{2^{n-2}}{3} \pi + i \sin \frac{2^{n-2}}{3} \pi \right) \end{aligned}$$

$$\text{したがって } z_n - i = 2^{2^{n-1}} \left( \cos \frac{2^{n-2}}{3} \pi + i \sin \frac{2^{n-2}}{3} \pi \right) \quad \cdots (*)$$

(1) (\*) に  $n = 2, 3$  をそれぞれ代入すると

$$\begin{aligned} z_2 - i &= 8 \left( \cos \frac{\pi}{3} + i \sin \frac{\pi}{3} \right), \\ z_3 - i &= 128 \left( \cos \frac{2\pi}{3} + i \sin \frac{2\pi}{3} \right) \end{aligned}$$

(2) (\*) より,  $r_n = 2^{2^{n-1}}$  であるから  $\log_2 r_n = 2^n - 1$

(3) (\*) より  $z_n - i = 2^{2^{n-1}} \left( \cos \frac{2^{n-2}}{3} \pi + i \sin \frac{2^{n-2}}{3} \pi \right)$

(4) (\*) より  $\arg(z_n - i) = \frac{2^{n-2}}{3} \pi$   
 $2^{n-2} \equiv (-1)^{n-2} \equiv (-1)^n \pmod{3}$  であるから

$$(-1)^3 \equiv (-1)^5 \equiv (-1)^{2025} \equiv 2 \pmod{3}$$

よって,  $\arg(z_3 - i), \arg(z_5 - i), \arg(z_{2025} - i)$  は  $\frac{2\pi}{3}$  または  $\frac{5\pi}{3}$

$$\frac{z_{2025} - z_3}{z_5 - z_3} = \frac{(z_{2025} - i) - (z_3 - i)}{(z_5 - i) - (z_3 - i)}$$

は実数であるから, 3点  $P_3, P_5, P_{2025}$  は同一直線上にある. ■